

健やかな心と体をはぐくむために

～ 学校における性に関する教育 ～

学校における性に関する教育の具体的な目標

- (1) 心身の発育・発達や性に関する内容について理解し、健康の大切さを認識し、危険（リスク）を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善することのできる能力を育てる。
- (2) 生命や人格の尊重、男女平等の精神の下に、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築くことができる資質や能力を育てる。
- (3) 家庭や社会の一員としての在り方を理解し、性に関する諸問題に適切に対処するとともに、より良い家庭や社会づくりに向けて責任ある行動を実践することのできる資質や能力を育てる。

系統的・横断的な指導

- 性に関する教育は、発達段階に応じたテーマで、学校教育活動全体を通じて系統的・横断的に行われることが重要です。
- 児童生徒にかかわる全ての教職員は、人格の完成と豊かな人間形成を目指す「性に関する教育」の担い手です。

〈指導の場〉学校教育活動全体

体育・保健体育、理科、社会等各教科、道徳、学級活動・ホームルーム活動、学校行事等

指導体制や学習方法の工夫

効果的に指導を進めるためには指導体制や学習方法などの工夫が必要です。

指導体制（ティーム・ティーチング）

養護教諭、産婦人科医、助産師、保健師、学校医、スクールカウンセラー、保育士、看護師、保護者、地域関係者等
※事前に子どもの実態、学習の目標など十分な打合せが必要です。

学習方法

心のノートの活用、ブレインストーミング、ロールプレイング、エンカウンター、赤ちゃんふれあい体験、飼育・栽培、ボランティア活動等

豊かな人間形成
人格の完成と



〔小学校〕

〔生命の大切さ〕

- 自己肯定感
- 男女の協力
- 家族の愛情



〔中学校〕

〔自他への慈しみ〕

- 心身の成長
- 異性とのかかわり
- 情報の取捨選択



〔高等学校〕

〔自己理解から自立へ〕

- 自他への理解の深化
- 適切な意志決定や行動選択
- 社会的規範意識

発達段階に応じたテーマと重点指導項目

発達段階に応じた「性に関する教育」の主な学習内容

小学校 「生命の大切さ」

中学校

低学年(1・2年)

中学年(3・4年)

高学年(5・6年)

1年

道徳

- ◆生きることの喜び、生命を大切にすること
 - すべてのものに生命があることの気づき
 - 生命に対する尊重の精神
 - 生きていることへの喜びと感謝の気持ち **Point**
- 家の手伝い、家族の役に立つ喜び
 - 友達と仲良く助け合い

- 生命を大切にすること
 - 信頼、協力、助け合い
- 家族の協力、楽しい家庭

- 自他の生命の尊重
 - ◆信頼、友情、男女の協力・助け合い
 - 異性に対する正しい理解
 - 相手の立場や気持ちを尊重した男女間の友達関係
 - よりよい男女の協力関係 **Point**
- (展開例参照)
- 家族の幸せ・進んで役に立つ
 - 偏見や差別をもたない

- 生命の尊さ、自他の生命の尊重
 - ◆異性の正しい理解・人格の尊重
 - 互いのよさを認め合い、高め合おうとする心
 - 異性に対する望ましい態度 **Point**
- 差別や偏見のない社会の実現
 - 家族の一員としての自覚

学級活動・ホームルーム活動

- 基本的な生活習慣の形成
 - 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- 希望や目標をもって生きる態度の形成
 - 望ましい人間関係の育成

- 基本的な生活習慣の形成
 - 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- 希望や目標をもって生きる態度の形成
 - ◆望ましい人間関係の育成
 - 物事に対する感じ方や考え方の男女による違いの理解
 - 教師と児童、児童相互の人間関係
 - 学級への所属感 **Point**

- 基本的な生活習慣の形成
 - ◆心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 - 心身の発育・発達における男女差や個人差
 - 心身の変化に伴う不安や悩みへの対処の仕方
 - 自他の生命を尊重し、安全に行動できる能力や態度 **Point**
- 希望や目標をもって生きる態度の形成
 - 望ましい人間関係の育成

- 青年期の不安や悩みとその解決
- 自己及び他者の個性の理解と尊重
 - 社会の一員としての自覚と責任
 - 男女相互の理解と協力
 - 望ましい人間関係の確立
 - 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
 - 性的な発達への適応

体育・保健体育

- ◆思春期の体の変化
 - 「男女の体の変化の特徴」「発育・発達における個人差」「異性への関心の芽生え」に関する正しい知識 **Point**
- (展開例参照)

- 心の発達
- 不安や悩みへの対処
- 病気の予防、エイズという病気

- ◆生殖にかかわる機能の成熟
 - 生殖器の発育・生殖機能の発達に関する正しい知識
 - 性衝動や異性への関心の高まりに対する対処
 - 異性の尊重、性に関する適切な態度や行動の選択
 - 自分の心や体に起こる様々な変化や個人による発達の違いを主体的に受け止める力 **Point**
- 精神機能の発達と自己形成
 - 欲求やストレスへの対処と心の健康

各教科

- ◆多くの人々の支え、自分の成長、成長への喜び(生活)
 - 家族の愛情や周りの人たちの支えに対する感謝の気持ち
 - 健康に気をつけたり、自分のできることを進んでやるうとしたりする意欲的な生活態度
 - 自己肯定感 **Point**
- (展開例参照)
- (生活) ●健康で安全な生活
 - 身近な自然との触れ合い

- (家庭) ●自分や家族の生活を支える仕事
- 自分の分担する仕事
- (理科) ●動物の発生や成長
- (社会) ●放送、新聞、電信電話などの産業と国民生活とのかわり
- 国民としての権利及び義務

「自他への慈しみ」

高等学校「自己理解から自立へ」

道徳

学級活動・ホームルーム活動

体育・保健体育

各教科

2年

3年

入学年次～

- 生命の尊さ、自他の生命の尊重
- 友情
- 異性の正しい理解・人格の尊重

- 差別や偏見のない社会の実現
- 家族の一員としての自覚

- 生命の尊さ、自他の生命の尊重
- 友情
- 異性の正しい理解・人格の尊重

- 差別や偏見のない社会の実現
- 家族の一員としての自覚

◆青年期の不安や悩みとその解決

- 不安や悩みを乗り越えようとする態度
- 異性との交際におけるエチケットやマナー
- 男女交際に関する適切な判断や意志決定

Point

- 自己及び他者の個性の理解と尊重
- 社会の一員としての自覚と責任
- 男女相互の理解と協力
- 望ましい人間関係の確立
- 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- 性的な発達への適応

◆性情報への対応

- 性情報の正しい理解
- 自分の身を守るための適切な情報選択能力と責任ある行動

Point

(展開例参照)

●青年期の不安や悩みとその解決

- 自己及び他者の個性の理解と尊重
- 社会の一員としての自覚と責任
- 男女相互の理解と協力
- 望ましい人間関係の確立
- 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- 性的な発達への適応

◆性被害・加害の防止

- 性被害・加害の現状とその要因
- 正しい性意識と欲求をコントロールする力
- 倫理観や規範意識

Point

◆青年期の不安や悩みとその解決

- 不安や悩みを乗り越えようとする態度
- 異性との交際におけるエチケットやマナー
- 男女交際に関する適切な判断や意志決定

Point

(展開例参照)

- 自己及び他者の個性の理解と尊重
- 社会生活における役割の自覚と自己責任
- 男女相互の理解と協力
- コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
- 心身の健康と健全な生活態度や習慣の確立
- 生命の尊重と安全な生活態度や習慣の確立

◆感染症の予防

- エイズ及び性感染症に関する正しい理解(疾病概念、感染経路、予防方法)
- NOと言える判断力と勇気
- 互いを思いやる心

Point

(展開例参照)

◆思春期と健康、結婚生活と健康

- 自分の健康状態の把握
- 自己肯定感と自分を大切にできる気持ち
- 思春期の性の理解
- 異性を尊重する態度
- 豊かな人間関係を結ぶコミュニケーション能力

Point

◆健康に関わる意志決定と行動選択

- 性に関する正しい知識・理解
- 情報を正しく判断する力
- コミュニケーション能力
- 自尊心と思いやり
- 自立した男女の人間関係
- ソーシャルスキル

Point

- 欲求と適応機制、ストレスへの対処、自己実現
- 感染症とその予防

- (家庭) ●自分の成長と家族や家庭生活とのかわり
- 幼児の発達と家族、家庭と家族関係
- (技術) ●生活や産業の中で情報手段が果たしている役割
- (理科) ●情報通信ネットワーク
- 動物の体のつくりと働き

- (理科) ●生物の殖え方
- (社会) ●個人と社会生活

- (家庭基礎) ●乳幼児の心身の発達と生活
- (生活技術) ●親の役割と保育
- 生涯発達と各ライフステージの特徴
- 家庭の機能と家族
- (家庭総合) ●母体の健康管理と子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴
- 青年期の課題
- 家族・家庭を支える労働
- 家庭の機能と家族関係
- 親の役割と子どもの人間育成
- 子どもを生み育てることの意義
- (理科総合B) ●生物の移り変わり
- (生物I) ●生殖と発生、遺伝
- (現代社会) ●現代の社会生活と青年
- (倫理) ●青年期の課題と自己形成
- 現代の諸課題と倫理
- (情報A) ●情報の収集・発信における問題点
- 情報化の進展が生活に及ぼす影響
- (情報B) ●情報技術の進展が社会に及ぼす影響
- (情報C) ●情報の公開・保護と個人の責任



小学校低学年 「生活」(例) 「大きくなったよ」 (自分の成長、成長への喜び)

題材名

ね ら い

家族の愛情や周りの人たちの支えによって成長できたことへの感謝の気持ちをもたせるとともに、自分でできることは進んでやろうとする意欲的な生活態度を育てる。

効果的な指導体制(チーム・ティーチング)

家族、近所の人、保育園や幼稚園の先生

学習方法の工夫

思い出アルバムづくり、家族や地域の人へのインタビュー、家族から(へ)の手紙

関連する行事等

身体測定、親子レクリエーション

指導の流れ

【事前】

「こんなに大きくなったよ」カードに保護者から記入してもらおう

- ▼名前の由来、生まれるまで、生まれた時、小さい頃のエピソード等。
- ▼初めて何かができた時など、成長の節目となったエピソード集めを支援する。
- ▼材料集めを通じて、自分が多くの人たちと関わってきたことに気づかせる。

小さかった頃のことを発表しよう

「こんなに大きくなったよ」カードを発表しよう

- ・保護者や家族の人に聞いたことを発表する
- ・誰もが周りから愛され、成長してきたことを知る
 - ▼生まれたこと、命を大切にしたいという気持ちを育てる。
 - ▼家族や保育園、幼稚園の先生等を招いて、エピソードや感想を話してもらったり、また家族からの手紙を紹介したりしてもよい。

「大切にしたいもの」や

「家族との思い出」を書いてみよう

- ・家族への自分の気持ち
- ・自分が今、家族のためにできること
- ・思い出の中で大切にしたいもの
 - ▼自分が大切にされてきたことや自分が大切にしなければならぬものに気づかせる。

【事後】

家へ帰ってから家族や近所の人に もっと話を聞いてみよう

- ・幼い頃のアルバムやビデオを見直す
- ・周りの人(祖父母、近所の人、幼稚園や保育園の先生等)に話を聞く
 - ▼私のアルバムづくりに発展させてもよい。



小学校中学年 「体育」(例) 「育ちゆく体とわたし」 (男女の体の変化の特徴)

題材名

ね ら い

二次性徴期における男女の体の変化の特徴を理解させるとともに、身体の発育・発達には個人差があることを理解させる。

効果的な指導体制(チーム・ティーチング)

養護教諭、産婦人科医・保健師

学習方法の工夫

体位の年齢別調査、父母の手紙

関連する行事等

身体測定、運動会、体育(運動領域)

指導の流れ

男女の体位の年齢別調査から 違いを読み取ろう

- ・女子の方が早く大きくなっているぞ
- ・中学生になると女子よりも男子の方が大きくなっているな
- ▼資料の数値は平均的なものであり、誰もが成長していくことをおさえる。

男女の体の変化の違いについて考えよう

体の変化の特徴を見つけよう

- ・男子…がっちりする、ひげ、声変わり、発毛
- ・女子…全体的に丸みを帯びる(胸、腰)、発毛
 - ▼大人の男女では、体のシルエットが違うことに気づかせる。

その他の変化について話を聞こう

- ・新しい生命を産み育てるための変化がある
 - 男子…精通 女子…初経
- ・女子の体の変化は、男子より早く始まる
 - ▼養護教諭や産婦人科医・保健師などの専門的な立場の人に、体の変化や変化の個人差について説明してもらおう。
 - ▼お父さんやお母さんからの手紙を利用し、
 - 子どもが大人に近づいたことへの喜び
 - 個人差があっても、体の変化は確実に起こることなどを伝え、体の変化に対する子どもの不安を解消する。

学習のまとめをしよう

- ・成長につれて、男女それぞれの体の変化が起こる
- ・体の変化には個人差がある
 - ▼健康であることの大切さにも気づかせる。
 - 大人に向けて自分の体を大切にしよう
 - まわりの人への気配りをしよう など



小学校高学年 「道徳」(例) 「男女仲良く！」

(男女の協力・助け合い)

主題名

ねらい

相手の立場や気持ちを尊重した男女間の友情関係に気づかせ、より良い男女の協力関係を築こうとする態度を育てる。

効果的な指導体制(ティーム・ティーチング)

担任とは違う性別の教師

学習方法の工夫

ブレーストーミング、エンカウンター、心のノートの活用

関連する行事等

修学旅行、遠足、校外学習、運動会、学習発表会、委員会活動

指導の流れ

- 男女それぞれの良いところを見つけよう
 - ・男子…力強い、たくましい、度胸がある など
 - ・女子…器用、やさしい、しっかりしている など
- ▼子どもたちへのきっかけとするために、男女の教師がそれぞれ互いの良い点を切り出す。
- ▼グループごとのブレーストーミングによって、自分とは違う異性の良さに気付かせる。

男女の協力について考えよう

- 「異性との協力にとまどいを感じる」というストーリーのお話を読んで、場面状況をとらえよう
 - ・登場人物の気持ちを考える
 - ▼高学年になって、異性を意識するようになった気持ちを押さえる。
 - ▼男女が互いに協力した方が良い場面について発表させ、男女の役割について考えさせる。

異性のことをもっと知ろう(エンカウンター)

- ・自分と考え方が同じだぞ
- ・こんな風に思っているんだ
 - ▼エンカウンターでは、男女の教師が交互にリーダーを行いながら男女を係わらせ、異性について再発見させる。(エクササイズ)
 - 異性に生年月日を尋ねて、グループを作ろう
 - 「好きな動物」「好きな食べ物」「得意な教科」「苦なこと」などを質問しよう など
 - (シェアリング)
 - グループで感想を発表しあおう
 - ▼話をする時は、目線をあわせることが大切であることを伝える。
 - ▼異性についての再発見後に、「男女の協力」に関して教師が体験談を話すと効果的。

これまでの自分の行動を振り返り、今後の行動を考えよう

- ・自分から積極的に協力できることを考える
- ・今日のまとめを「心のノート」へ記録する
 - ▼今後の行事や活動での具体的な行動目標について考えさせる。
 - ▼心のノートへ記録した内容は後日振り返らせる。



中学校2年 「特別活動」(例) 「性情報への対応」

(心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成)

題材名

ねらい

自分の身を守るための適切な情報選択能力を身に付けさせ、自己の成長発達に役立てることの大切さを理解させる。

効果的な指導体制(ティーム・ティーチング)

警察官・防犯関係者

学習方法の工夫

ブレーストーミング、ディベート形式

関連する行事等

思春期教室、教育相談週間、参観日、家庭訪問

指導の流れ

- 「性情報」をどこから(何から)入手しますか
 - ・グループごとのブレーストーミング
 - ▼ブレーストーミングによって自由に意見を出させ、身近にはたくさんの性情報があふれていることに気づかせる。

性情報の取捨選択について考えよう

- 性情報について話し合おう(ディベート形式)
 - ・知った方がいい
 - ・知らない方がいい
 - ▼相手方を説得するための根拠に基づいた発表の仕方を考えさせる。
 - ▼予め保健係に調べさせた資料や専門家へのインタビュー・ビデオなどを活用して、性情報への理解を深めさせる。
- 学習したことをまとめ、自分のこれからの行動を考えよう
 - ・役に立つこと……今まで知らなかったことを知ることができる など
 - ・注意すべきこと…誤った情報が含まれている場合がある犯罪に巻き込まれる可能性がある など
 - ▼責任ある行動に必要な「意志決定」の大切さを知らせる。
 - ▼自分のことだけでなく、周囲を思いやることの大切さにも触れる。

【事後】性情報の問題点や課題を知ろう

- ・性情報と性の被害・加害
- ・適切な取捨選択と活用の仕方
 - ▼参観日などを活用し、保護者にも情報を提供する。
 - ▼警察官・防犯関係者等(内容によっては産婦人科医・保健師等も可)、専門家からの講話を聞く。



中学校3学年 「保健体育」など(例) 「性感染症の予防」

(健康な生活と疾病の予防)

題材名

ねらい

エイズ及び性感染症に関する正しい知識(疾病概念、感染経路、予防方法)を理解させるとともに、NOと言える判断力と勇気や互いを思いやる心を育てる。

効果的な指導体制(ティーム・ティーチング)

養護教諭、保健師・医師等

学習方法の工夫

グループワーク、意思表示カード

関連する行事等

思春期教室など

指導の流れ

- エイズ、性感染症の現状を調べよう
 - ・ グラフを見て気づいたことをワークシートに記入する
 - ▼エイズは近年増加傾向にあること、性感染症がHIV感染者よりはるかに多いことに気づかせる。

エイズ、性感染症について考えよう

- 性感染症に関する自分の認識を確かめよう
 - ・ 性感染症についての知識や意識に関するクイズ
 - ▼生徒が気軽に答えられるように、色彩カードを用いてもよい。(色彩カード:「YES」青、「NO」赤、「不明」黄など)

性感染症について知ろう

- ・ 性感染症の意味
- ・ 性感染症の種類
- ・ 性感染症の治療の現状
- ▼性感染症は性的接触で感染することを理解させる。
- ▼保健師、医師等の専門家に指導してもらうのもよい。わかりやすく視覚に訴えることが必要。

エイズ、性感染症の予防について考えよう

- ・ 性感染症が広がる原因
- ・ 予防の方法
- ▼グループで話し合わせる。
- ▼感染原因から予防について考えさせる。
- ▼中学生の男女交際と、交際の節度について考えさせる。

まとめよう

- ・ 性行動の選択、人間関係のあり方について考え、ワークシートに記入する
- ▼知識だけでなく、正しい行動の選択、人間関係のあり方についてまとめさせる。

性感染症に関する認識の変化を表明しよう

- ・ 色彩カードで意思表示する
- ▼意識の変化を把握する。



高等学校 「ホームルーム活動」(例) 「男女交際」

題材名

(青年期の不安や悩みとその解決)

ねらい

性的成熟に伴って、心理面、行動面が変化することを理解させるとともに、それらに対応して異性を尊重する態度が必要であること、及び性に関する情報への対処など適切な意志決定や行動選択が必要であることを理解させる。

効果的な指導体制(ティーム・ティーチング)

養護教諭、産婦人科医・助産師・保健師等

学習方法の工夫

ロールプレイング

関連する行事等

性教育講話・健康教育講話、保健室での個別指導

指導の流れ

- 【事前】
専門家の講話から学ぼう
 - ・ 思春期の心と体
 - ・ 大切な存在としての自分
 - ▼産婦人科医、助産師、保健師、養護教諭など、専門的な知識を有する人から性に関する正しい知識を提供する。

自分の心身の健康状態を把握しよう

- ・ 意識調査によって、成長に伴い、心理面、行動面が変化していることに気づく
- ▼成長による心身の変化には個人差があることを認識させる。

男女交際のあり方について考えよう

- 性的成熟に伴う課題について、
グループで話し合おう
 - ・ 望まない妊娠による影響
 - ・ 人工妊娠中絶、性感染症などによる心身への影響
 - ・ 人間関係の崩れによる精神的不安や苦痛
 - ▼責任ある行動と、異性を思いやる心の大切さに気づかせる。
 - ▼特定の異性との交際は、物事に対する積極的な意欲をわかせることもあるが、反面、情緒的に不安定となり、学習意欲の低下や学校生活不適応を生じさせることもあることに気付かせる。

自分の行動を振り返り、これからの行動を考えよう

- ・ 自己肯定感と自分を大切にできる気持ち
- ・ 異性の身体面、精神面の理解、男女間のマナー
- ・ 男女交際に関する適切な行動選択と意志決定
- ▼ロールプレイングの活用
- ▼良好で、豊かな人間関係を結ぶためのコミュニケーション能力の大切さに気づかせる。
- ▼必要に応じて、養護教諭等による個別指導も行う。

特別支援学校(聾)小・中学部 「保健体育」(例) 「いのちの大切さ」

題材名

(かけがえのないいのち)

ねらい

自分は世界にたった一人しかいない大切な存在であることを知らせ、自分の周りにいる人たちも、それぞれ違った個性を持ち、たった一人しかいない存在であることを理解させる。

効果的な指導体制(ティーム・ティーチング)

助産師、サブティーチャー(支援、通訳等)

学習方法の工夫

ビデオ視聴、人形抱っこ体験、家族への手紙

関連する行事等

身体測定、お誕生会

指導の流れ

ことばを覚えよう

・胎児の成長について、用語等を知る

▼サブティーチャーとの打合せで役割分担(進行、通訳・解説、視覚教材表示など)を決め、教材等の準備をする。

いのちの誕生を学ぼう

▼性に対して、自分で感じ、考える機会であることを確認する。

ある兄弟の成長記録のビデオを見よう

・自分の命がかけがえのないものであることに気付く
・兄弟でもそれぞれの個性があることを知る

▼サブティーチャーと連携して適切な支援を行いながら、質疑応答の時間も設ける。

胎児の模型を触ろう

・月ごとの成長の様子を、模型を触って体験する
・学習内容を文字や絵で確認する

▼小さいのちが、大事にされながら成長していくことに気付かせる。

3kgの赤ちゃん人形を抱っこしよう

・赤ちゃんの抱き方を体験したり、赤ちゃんの様子を観察したりする
・いのちの重さ、親の愛情を知る

▼体験で感じたことを、自分の言葉で表現させる。

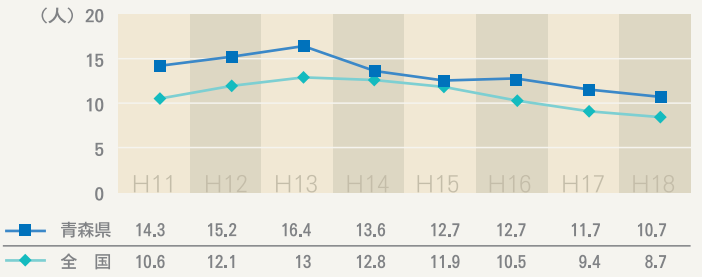
文字で表そう

・アンケートや保護者への手紙を記入する

▼アンケートの内容は、いのちの大切さの理解度を評価できるように工夫する。

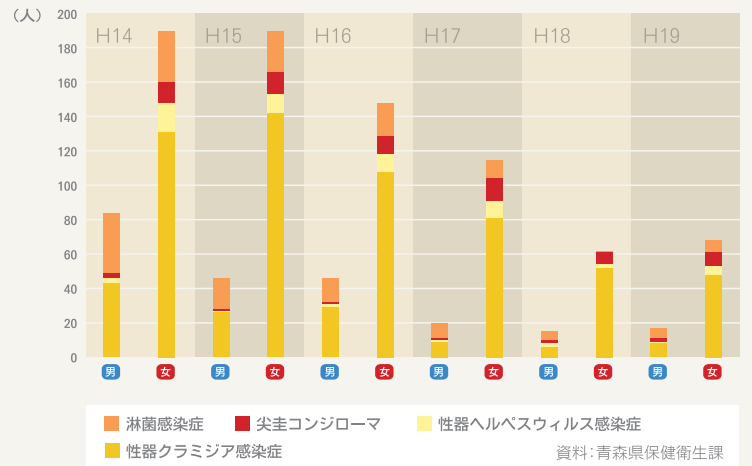
▼学級通信等で、保護者に授業の内容や児童生徒の様子を伝える。

人工妊娠中絶実施率の推移 (15歳以上20歳未満の女子人口千対)

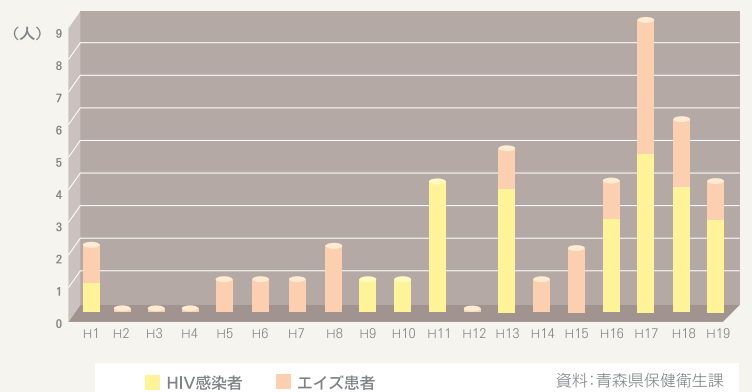


資料: H11~13 母体保護統計
H14~18 衛生行政報告例

県内10代(男女別)の性感染症発生動向



本県のエイズ患者・HIV感染者の発生動向



コラム

<ブレーストーミング>

あるテーマについて、グループでアイデアを自由奔放に数多く出し合う会議形式のこと。とっぴな意見でも批判せず、数多く出されたアイデアを結合、改善、発展させることによって、質の良いものを生み出させます。

<エンカウンター>

本音を表現し合い、それを互いに認め合う体験のこと。構成的グループエンカウンターでは、リーダーから指示された課題をグループで行い、(エクササイズ)感じたこと、考えたことを率直に語り合わせ、(シェアリング)自分や他者への気づきを深めさせたり、人とともに生きる喜びや自分の道を力強く歩む勇気をもたせたりします。

<ディベート>

テーマの是非について、2グループの話し手が、賛成・反対の立場に別れ、自分たちの優位性を聞き手(第三者)に理解してもらうことを意図して議論を行うコミュニケーション形態のこと。論理だった思考や、筋立てて、人前で堂々と主張できるようになります。

連携・協力機関連絡先

■産婦人科学校医

氏名	勤務先電話番号	配置校
東 青 平 岡 友 良	017-762-5500	県立青森西高等学校
西 北 千 歳 和 哉	017-776-2893	県立五所川原高等学校
中 南 蓮 尾 豊	0172-39-6123	県立弘前中央高等学校
上 北 小 坂 康 美	0178-29-0322	県立三沢商業高等学校
下 北 小 川 克 弘	0175-22-2111	県立大湊高等学校
三 八 苫米地 怜	0178-47-5651	県立八戸東高等学校

■看護協会

施設名等	電話番号
青森県看護協会	017-723-4579

■助産師会

施設名等	電話番号
日本助産師会青森県支部	017-742-7500

■思春期研究会等

施設名等	電話番号
あおもり思春期研究会(県立保健大学内)	017-765-2000
八戸地区思春期問題連絡懇談会(八戸市医師会内)	0178-43-3954

■大学等(ピアカウンセラー養成)

施設名等	電話番号	施設名等	電話番号
青森県立保健大学	017-765-2000	国立大学法人弘前大学	0172-36-2111
八戸大学・八戸短期大学	0178-30-1700	青森中央短期大学	017-728-0121
八戸市立高等看護学院	0178-22-4169		

■各地域保健所

施設名等	電話番号	施設名等	電話番号
東地方保健所	017-741-8116	上十三保健所	0176-23-4261
弘前保健所	0172-33-8521	むつ保健所	0175-24-1231
八戸保健所	0178-27-5111	青森市保健所	017-765-5280
五所川原保健所	0173-34-2108		

●その他、各市町村母子保健担当窓口へ

参考・引用文献

- 1 「学校における性に関する教育の考え方、進め方」 青森県教育委員会 平成19年3月
- 2 「青森県思春期保健対策の今後のあり方について」 青森県思春期保健対策検討委員会 平成18年3月
- 3 福島県の性教育「性を学んでいのち生き生き」 教師用 福島県教育委員会
- 4 すべての教職員が取り組む「性教育指導マニュアル～心と体の性教育のために～」 愛媛県教育委員会 平成19年3月
- 5 生き生き岩手の性教育「学校における健やかな心と体を育む性教育の進め方」 岩手県教育委員会 平成19年11月
- 6 「性教育の手引～盲・ろう・養護学校編～」 東京都教育委員会 平成17年3月
- 7 研究発表会資料改訂版「学習指導要領における性に関する主な内容」 愛媛県総合教育センター 平成19年2月

平成19年度青森県性教育実践検討委員会委員

◎千 歳 和 哉 (青森県医師会常任理事)	中 村 尚 子 (青森県立八戸商業高等学校養護教諭)
○中 村 由美子 (青森県立保健大学教授)	千 葉 玲 奈 (青森県立平内高等学校養護教諭)
苫米地 怜 (青森県医師会常任理事)	角 田 真紀子 (青森県立八戸聾学校教諭)
梅 津 克 文 (青森市立堤小学校教諭)	石 山 信 子 (青森県立青森第二高等養護学校教諭)
加賀田 まき子 (鶴田町立水元中央小学校養護教諭)	澤 田 孝 頼 (青森県教育庁東青教育事務所指導主事)
淡 路 秀 一 (八戸市立明治小学校教諭)	吉 田 英 人 (青森県教育庁西北教育事務所指導主事)
森 菜穂子 (弘前市立第五中学校養護教諭)	池 田 茂 (青森県教育庁中南教育事務所指導主事)
井 端 良 子 (六戸町立六戸中学校養護教諭)	藤 田 誠 志 (青森県教育庁上北教育事務所指導主事)
古 畑 佳奈美 (佐井村立佐井中学校養護教諭)	俣 田 登 (青森県教育庁下北教育事務所指導主事)
長谷川 隆 子 (青森県立五所川原工業高等学校養護教諭)	澤 田 尚 (青森県教育庁三八教育事務所指導主事)

(◎印は委員長、○印は副委員長 ※平成20年3月末現在)